

北海道立北方民族博物館 開館10周年記念企画展

The Great Journey

# グレートジャーニー

—北をめざした人類の子孫たち—

南米、中米、北米、北東シベリアそしてモンゴル

2001・1・10(水)～3・25(日)

北海道立北方民族博物館特別展示室

協 力/関野 吉晴 氏

人類の足跡をたどって南米最南端からアフリカをめざして旅をつづけている探検家・関野吉晴氏の写真による人と自然の紹介

■開館時間 9:30～16:30

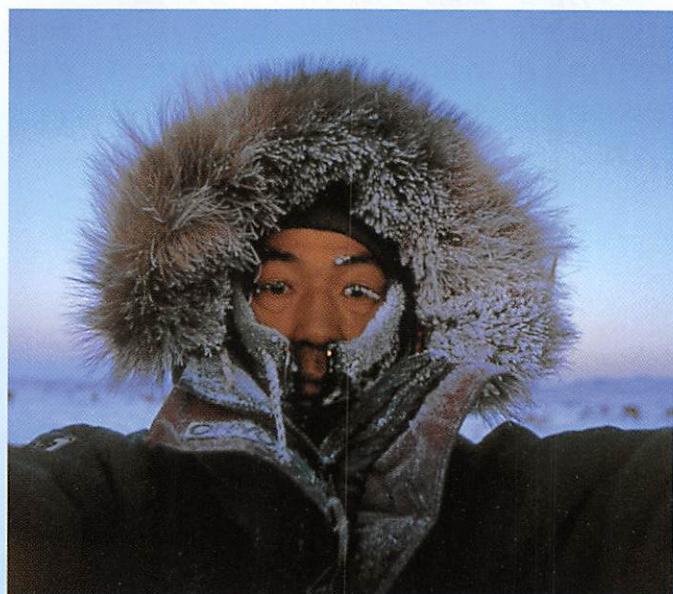
■観 覧 料 無料

■休 館 日 月曜日、2月15日(木)、3月13日(火)

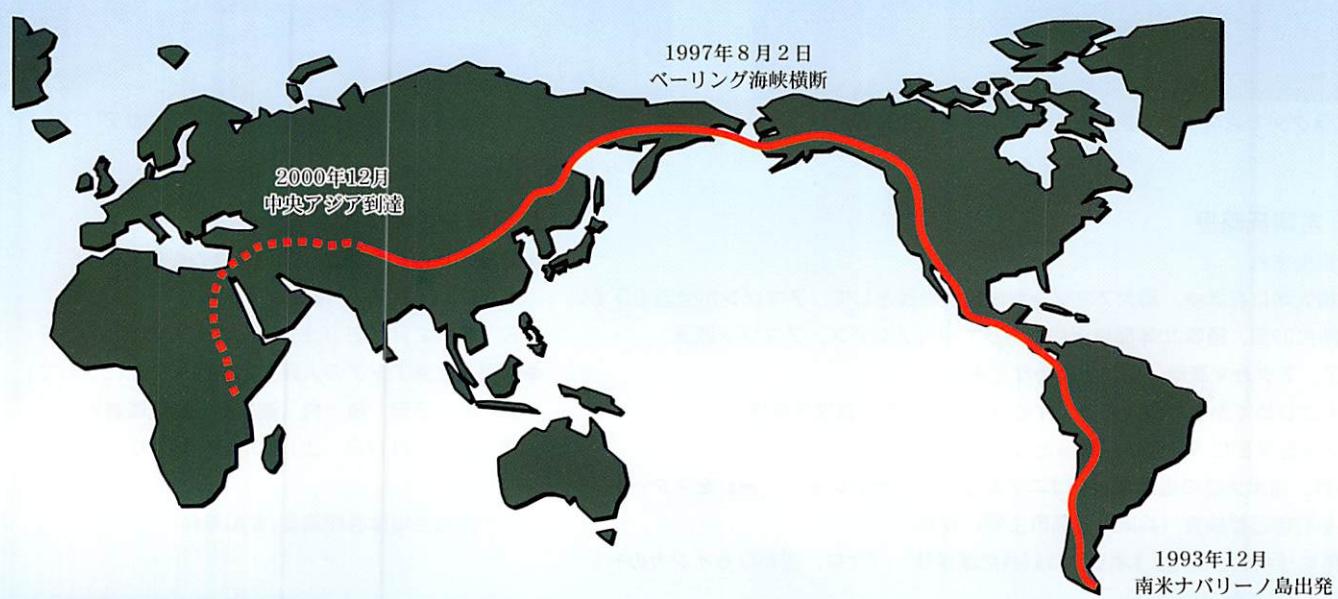
常設展観覧料：一般300円(240円)、大学生100円(80円)

( )内は10人以上の団体料金。小中高校生は無料。

その他の免除規定についてはお問合せください。



関野 吉晴 氏／シベリア



<関連講演会のお知らせ>

開館10周年記念講演会

「グレートジャーニー 人類400万年の旅をたどる—」

講 師 関野 吉晴氏 (探検家・医師)

日 時 2001年1月19日(金)午後7時～8時30分(開場 午後6時30分)

会 場 オホーツク・文化交流センター(網走市北2条西3丁目)大ホール

入場料 無料(申込が必要です。電話0152-45-3888 北海道立北方民族博物館まで)

サイン会 講演終了後写真集のサイン会が予定されています。

北海道立北方民族博物館  
Hokkaido Museum of Northern Peoples

〒093-0042 北海道網走市字潮見309-1 (天都山・道立オホーツク公園内)  
TEL 0152-45-3888/FAX 0152-45-3889/E-MAIL hoppohm@ohotoku26.or.jp

## グレートジャーニーとは

およそ400万年前に東アフリカに発祥したとされる人類は、その後アフリカを出てアジアに広がった。今から数万年前にアジア極北の寒冷な環境を克服した人類は、北アメリカへ渡りついには1万年前に南米の最南端まで到達した。

現在、探検家・関野吉晴氏は、自らの脚力と腕力で、この5万km以上もの人類の壮大な旅を逆ルートでたどりつつある。

本企画展では、1993年12月に南米最南端を出発してモンゴルに到達するまでに關野吉晴氏が撮影した写真から、グレートジャーニーで出会った人と自然を紹介します。

### ■これまでのグレートジャーニーの経過

- 1993年12月5日 南米最南端ナバリーノ島スタート
- 1995年 アマゾン源流・中央アンデス探検
- 1995年10月9日 南米大陸北端・パナマ地峡入り口のトゥルボ到着
- 1996年9月1日 東南アラスカスカグウェイ到着
- 1997年8月2日 ベーリング海峡を横断しシベリア北東端デジネフに到着
- 1998年10月3日 カムチャツカ半島の付け根マニリに到着
- 2000年12月 中央アジアに到達



ラクダで通学する子供たち／モンゴル・ゴビ砂漠



トナカイぞりの準備をする関野さん／シベリア

### ■関野 吉晴氏略歴

1949年東京生まれ

1971年一橋大学に在学中、同大アマゾン全域踏査隊長として、アマゾン川全流を下る。

以来25年間に32回、通算10年間以上にわたって中央アンデス、アマゾン源流、  
パタゴニア、アタカマ高地、ギアナ高地などを歩く。

南米踏査をはじめてから、探検をつづけるうちに医療の必要性を痛感し、  
横浜市立大学医学部に入り直し、医師となる。

1993年12月、南米大陸の最南端パタゴニアから「グレートジャーニー」をスタート。

1999年、植村直己冒険賞（兵庫県日高町主催）受賞。

主な写真集に『ギアナ高地』『オリノコ』（共に講談社）、『ケロ、遙かなるインカの村』  
『南米大陸』（共に朝日新聞社）。

著書に『ぐうらた原始行』（山と渓谷社）、『わがアマゾン、トウチャン一家と13年』  
（朝日新聞社）他多数。

グレートジャーニーの旅の記録として、

写真集『グレートジャーニー①～人類400万年の旅～南米編Ⅰ』

『同②～南米編Ⅱ』『同③～中米・北米編』『同④～アラスカ編』

『同⑤～極東シベリア編』『同⑥～シベリア・モンゴル編』（いずれも毎日新聞社）。

子供向け読み物として『グレートジャーニー人類5万キロの旅』

第1巻～第9巻（いずれも小峰書店）が発売中。

### ■期間中のその他の催し

◆開館10周年記念講座「アラスカの先史文化」

講 師 当館館長 岡田 宏明

日 時 2月10日（土）13:30～15:00

◆講座「北東アジアの人類史と先住民文化について」

講 師 渡部 裕・角 達之助（当館職員）

日 時 2月17日（土）13:30～16:30

いずれも会場は当館講堂、参加無料

